

平成22年1月発行

社会福祉法人

北の大地だより

通巻 第5号

宿

泊

研

修



10月27日から1泊2日で、宿泊研修を実施しました。今年は通所とグループホームあわせて41名のメンバーが参加しました。行き先は昨年に引き続きサロマでしたが、昨年より盛りだくさんの内容でした。

まずは常呂青少年自然の家で「履歴書の書き方講座」「体力づくり」の2グループに分かれて研修を行い、その後お楽しみのサロマ湖鶴雅リゾートへ。宴会場での夕食に続き、希望ごとにカラオケ、トランプ、麻雀に分かれて交流し、楽しみました。

第5号目次

- クリスマス会レポート / 事業別利用者数一覧 (2、3頁)
- 職員紹介 (4頁)
- 地域移行研修会レポート / 投稿板 (5頁)
- ご寄付御礼 / 賛助会から (6頁)
- サポートネット北見から (研修会・家族学習会のご案内) (7頁)

クリスマス会を行いました。



↑おいしいごちそうを囲んで♪



↑日赤看護大音楽部の皆さんと♪



↑ハンドベル練習の様子。真剣です！



←★ Akihiro Jackson (アキヒロ・ジャクソン) サンタ姿で登場★
マイケルの音楽に合わせて踊る姿は、まるでマイケルの魂が乗り移ったかのようでした。

12月17日、北の大地のクリスマス会が、メンバーやご招待のお客様などあわせて116名の参加のもと総合福祉会館で開催されました。今年も、8名の実行委員メンバーを中心に、メンバーと職員が協力して準備や当日の運営を行いました。また今年も、日赤看護大学音楽部の3名の学生さん方の協力と、通所メンバー有志と学生の合同でのハンドベル演奏が実現しました。演奏に参加したメンバーのほとんどがハンドベルは初体験でしたが、学生さんたちがベルの鳴らし方からわかりやすく教えて下さり、当日合わせて4回という少ない練習回数でしたが、無事本番のステージを迎えることができました。お忙しい中ご協力くださった看護大の皆さん本当にありがとうございました。

★クリスマス会実行委員から、ひとことコメント

○初めて参加したクリスマス会でしたが、非常に温かい良いクリスマス会だったと思います。(佐川和憲)

○自分は、クリスマス実行委員を務めて思ったことがあります。毎年クリスマス会をよりいいものにするには、限られた予算内で、いかに、メンバーに喜んでもらえる出し物や食事を決めるのに、いかに大変か、職員や実行委員のメンバーといろいろな意見を交換してきて、すごく大変だと思いました。でも、職員と意見交換を重ねていくうちに、より良いものができる喜びも有ります。

最後に、北の大地で行う行事は、北の大地の職員と地域社会と北の大地のメンバーのひとりひとりの協力が必要だと思いました。(岩崎一)

○ハンドベルなどで、去年より楽しい雰囲気が出せたかな、と思います。(裕)

○けっこういいクリスマス会でした(大野)

○初めての実行委員でしたが、思ったほど大変ではなかったです。当日も楽しめました。(鈴木智子)

○ハンドベルが特に素晴らしかったと思います。昨年に続き2年連続で実行委員を務めたので、来年はお客様としてゆっくり楽しみたいな、と思います。(谷口)

○平成21年度のクリスマス会はとても楽しかったし、会食もゲームもとても良かったです。来年のクリスマス会も楽しみです。(岡 正典)

利用者数状況 (平成21年12月31日現在)

	就労継続支援 (B型)	就労移行支援	自立訓練 (生活訓練)	生活介護	通所全体
定員	30名	6名	15名	6名	57名
利用者登録数	42名	6名	23名	4名	75名
1日の 平均利用者数 (12月)	35.7名	5.7名	10.0名	3.3名	54.7名

	グループホーム (共同生活援助)						
	北進1号	北進2号	北進5号	本町	玉水苑	三条	綺羅
定員	6	7	8	6	8	8	8
利用者数	5	5	7	6	7	8	8

★ 職員紹介 ★

今号では、昨年途中から北の大地のスタッフとして加わった3名の職員のなかから、まず中塚静佳さんと橋場紀子さんのお二方にインタビューしました（伊藤）。

●中塚静佳（なかつかしずか）さん



「軽食・喫茶てんてこまい」のスタッフの休憩時間に、みんな集まっているところにお邪魔してインタビューしました。

（伊藤）中塚さんは『てんてこまい』の仕事や、メンバーの弁当配達業務のサポートなどをやっていますよね。仕事はどうですか？

（中塚）楽しいですね。「てんてこまい」は料理長の松本さんがすごく面白い人ですし。

（伊藤）松本さんはどんなところが面白いんですか？

（中塚）仕事はまじめなんですけど、休憩中に※★□*…（松本さんのイメージ保護のため詳細は割愛）

（松本） おいっ！！（笑）

（伊藤） えー、今回は松本さんではなくて中塚さんの紹介なので、話を戻します。弁当配達してる姿を目撃した人から、『若くてかわいい子が入ったね』との声を聞きましたよ。

（松本） 「若い」はともかく、かわいいかぁ？

（中塚） 私、性格はすごいかわいいと思うんですけど。

（メンバーK） わ、性格は可愛いって自分で言っちゃったよ、この人！（笑）

・・・と言うわけで、明るく楽しい中塚さん。趣味は「クルマ」だそうです。ちなみに、結婚して子供もいる方なので、男性の皆さんは変な期待はしても無駄ですよ。念のため。

●橋場紀子（はしばのりこ）さん



昨年10月より、グループホーム北進1号・2号の世話人を黒澤孔司さんとともにつとめている橋場さん。夕方世話人室を訪問したところ、入居メンバーの女の子たちが集まって和んでいる最中だったので、一緒にお話を聞くことにしました。

（伊藤） じゃあ、みんなて橋場さんから面白い話を引き出しましょう。

（メンバーT） 橋場さんは、面白っていか頼れる。

（一同） うんうん。

（伊藤） 年齢的にも、頼れるお母さん的な存在ですよ。あ、年齢は「永遠の20歳」でしたっけ。

（橋場） ええ（笑）。3回も成人式が来ちゃいましたけど。

（伊藤） ご出身は北見ですか？

（橋場） 高校まで留辺蘂でした。そのあとも、留辺蘂の個人病院で15年くらいつとめたり…

（伊藤） あ、ちょっと待って下さい。メモが追いつかなくて、病院のドクターが書くみたいな読めない字になってきちゃって…（…一同、お医者様の字はなぜ汚いのかについて、しばし盛り上がる…）

（橋場） 病院で事務の仕事をしていたときは、お医者さんの代筆をする仕事とかもありましたね。色々な先生がいました。お酒好きの先生に朝の5時まで付き合わされたり、といったこともありました。みんなの指導もしなければならなかったり、いろいろ大変なこともありましたね、仕事ですから。

（伊藤） 趣味の方はどうですか？

（橋場） いろいろありますよ。今はやってないけれどテニスとか好きですし、1人のときは読書とか、パズルとか…。

・・・と言うわけで、いろいろと経験の引き出しが多そうな橋場さん。メンバーたちと話しているときの生き生きとした表情を写真にとっておきたかったのですが、デジカメのメモリカードを入れて忘れてしまい撮れなかったのが残念です。

北網圏地域移行研修会を開催しました

12月5日、北見芸文ホールで地域生活移行研修会が行われました。今回の研修会は「統合失調症ってなんだろう？～みんなで心の病を考えよう～」というテーマで、玉越病院院長の玉越拓摩先生を講師にお迎えして行われました。当日の参加者は79名でした。当事者の方、ご家族の方、病院・福祉等の関係者の方がほぼ同じ割合で参加されていたようです。

玉越先生の講演では、統合失調症とはどんな病気なのかや、治療における薬の役割と大切さなどについて、「体質的に、脳が敏感な状態になる病気」といったわかりやすい言葉を使い、図解をまじえて解説していただきました。

先生のお話の中で、自分の病状を冷静に判断できる力をつけることが大切だというお話がありました。



↑ 玉越拓摩先生

なかなか病識（自分が病気であることの正しい認識）を持てなかった人でも、同じ病気を持った仲間や身近な人の助言がきっかけで病気を受け止められるようになり、良くなっていくことも多いというお話が印象的でした。

こういった研修などを通じて、当事者の方やその身近にいる家族や私たち関係者が、正しく知識を深め、より良い助言者になっていければいいな、と思いました。（伊藤）

投稿板

じつげつ
蒼き日月空間 梶原真

こんがん
懇願の地で流れる川の激しさは
青空を通して見た太陽と月が涙をながしている
と僕だけが切なく思ってしまった

じつげつ
日月の体液にも
引力で引かれ合う思いで他の誰かを輝く光で傷付けている
蒼き声紋は

いさぎよく
どこかで深く理想の言葉を譲っている
全ての存在を認める感覚で
君との距離を感じたい

日々の思い、心あたたまるエピソード等、「北の大地だより」でアピールしたいことがあるメンバーは、本部の伊藤までご相談ください。

御寄付御礼

●国際ソロプチミスト北見様よりご寄贈いただきました



このたび、国際ソロプチミスト北見様より、車いす2台及びメンバーの就労支援の場として運営する「軽食・喫茶てんてこまい」店内設置用の液晶テレビの購入資金のご寄付を賜りました。

国際ソロプチミストは実業界で活躍する女性や専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕団体です。今回、認証30周年を記念して市内の各福祉団体にご寄付があり、当法人も貴重なご寄付を賜りました。

心より厚く御礼申し上げるとともに、しっかりとメンバーのためになるように活用して参りたいと思います。

国際ソロプチミスト北見様の益々のご発展をご祈念申し上げます。

社会福祉法人 北の大地 理事長 鈴木 正末

●あたたかいご支援に心より感謝申し上げます（一般寄付 10月1日～12月31日）

株式会社 リョーユウガスセンター 様、
株式会社アスタービル代表取締役 永原耕司様、
匿名希望1名様 （日付順）

以上の皆様方から、合計6万4千円のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。いただいた寄付金は、当法人の精神保健福祉・障がい者自立支援事業のために大切に使用させていただきます。

社会福祉法人 北の大地 理事長 鈴木 正末

北の大地賛助会から

新規ご入会ありがとうございます（10月1日～12月31日受付分）
北見麵業株式会社 様、 所 憲一 様、 匿名希望 3名様

社会福祉法人北の大地賛助会は、北の大地の事業をより多くの方々にご理解いただき、メンバー（利用者）の自立を応援していただくことを趣旨としており、個人・法人の別を問わず、年間1口1千円から入会することができます。この広報「北の大地だより」の発行に係る経費も、賛助会費でまかなっております。

会費は、広報「北の大地だより」の発行に係る経費として使用させていただくほか、剰余金はメンバー（利用者）により良い支援を提供するための運営資金として大切に使用させていただきます。

ご入会申し込みは随時受け付けております。詳しくは下記までご連絡ください。

社会福祉法人北の大地 電話(0157)31-3343 メール taichi@fukusi-sien.jp （担当：伊藤）

地域生活支援センター・サポートネット北見から

■北網圏域地域移行研修家族大会（平成21年度精神障がい者家族支援事業）

日時 平成22年1月30日（土）13:30～16:30
場所 北見市民会館 小ホール（北見市常盤町2丁目1-10）

13:30～ 講演「統合失調症との付き合い方」～みんなでじょうずな対処について考えよう～
講師： 北見赤十字病院 精神科医 伊藤哲寛先生（元 道立精神保健福祉センター所長）

- 統合失調症に対する家族の役割は？ ●家族はどうしていることがいいの？
- 急性期をどう乗り越えるか？ ●いかに地域生活を実現するか？

15:00～ シンポジウム「地域生活支援活動について」

- いかに地域生活を実現するか、課題と展望について話しあいます。

家族会会長 美幌どんぐりの会 菅野 隆秋 氏、回復者クラブ会長 ともしび 井上 晴夫 氏
帯広生活支援センター所長 三上 雅丈 氏、ピアサポーター、精神科医 伊藤 哲寛 氏
精神保健福祉士 佐々木 諭 氏、北見保健所 精神保健福祉係長 立石 英章 氏

主催 北網圏域精神障害者地域生活支援センター「サポートネット北見」

後援 美幌どんぐりの会、津別ひまわりの会、ニポグリラ家族会、斜里あおぞら親の会

北見赤十字病院家族会、道立向陽ヶ丘病院家族会、北見保健所、網走保健所、社会福祉法人北の大地

★ 参加申込はサポートネット北見 TEL (0157) 31-3399 FAX(0157)31-3340

★ どなたでも参加できます（参加費無料）

■地域別家族学習会（2月例会）のご案内（平成21年度精神障がい者家族支援事業）

～同じ障がいを抱える家族として、悩んでいることを、話してみませんか？～

	網走会場	斜里会場	美幌会場	北見会場
日時	2月25日（木）	2月26日（金）	2月26日（金）	2月27日（土）
場所	網走保健所会議室 （網走市北7西3）	ぼると21研修室 （斜里町青葉町40）	しゃきっとプラザ 研修室（東3北2）	北見市総合福祉会館 研修室（寿町3-4）
参加対象	精神疾患を抱えている家族を持つ方			
特別参加	新宿フレンズ（新宿区精神障がい者家族会）会長 岡寄 清二氏			

* 今回の学習会（家族の集い）は昨年2月に初めて実施してから7回目となります。

今回は各地域の方がそれぞれ最寄りの場所で集まることができるように北網圏域で4ヵ所会場を設定しました。網走、斜里、美幌、北見の4ヵ所で家族学習会を開催いたします。

学習会では、新宿フレンズ会長の岡寄清二氏に家族会活動の活性化についてお話をいただき、その後皆さんとの意見交換を予定しております。

お互いにいろいろなお話ができればと考えております。お気軽に参加いただきいろいろな意見・アドバイスをいただきましょう。

連絡先： サポートネット北見 電話（0157）31-3399



画 佐藤ふじ子

社会福祉法人 北の大地 たいち (理事長 鈴木 正末)

〒090-0029 北見市北9条東1丁目14番地 北9条ビル

TEL(0157)31-3343 FAX(0157)31-3346

通所型障害福祉サービス事業

ワークネット北見就労移行支援事業所
 ワークネット北見就労継続支援事業所
 サポートネット自立訓練(生活訓練)事業所
 サポートネット生活介護事業所

軽食・喫茶 てんてこまい

(平日午前11時～午後2時 営業)

北見市北9条東1丁目15番地

落合ビル1階

TEL (0157) 23-1867

グループホーム(共同生活援助事業)

北進1号/北進2号/北進5号/
 3条/玉水苑/綺羅/本町

地域生活支援センターサポートネット北見

(相談支援・退院促進事業)

北見市北9条東1丁目15番地

落合ビル102号室

TEL (0157) 31-3399

FAX (0157) 31-3340

(編集後記)編集作業がずれこんでしまい、研修大会のご案内が発行に間に合うかどうか微妙なタイミングになってしまいました。次号以降気をつけます。

ご意見・ご感想は taichi@fukusi-sien.jp

北の大地だより 第5号

発行 平成22年1月29日

編集・発行 社会福祉法人北の大地

定価 50円